

第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画（案）に係るパブリック・コメントに寄せられた御意見の概要と県の考え方

意見募集期間：平成30年10月19日（金）～11月19日（月）まで

意見数：4人から11件

番号	箇所	意見概要	県の考え方
1	第3章 子どもの読書 活動の推進の ための方策 (18ページ)	友人同士で本を薦め合う活動を数値目標としたことは素晴らしい。今後、高校だけでなく中学校にも波及するよう期待する。	頂いた御意見を踏まえ、今後、中学校教諭等を対象とした研修会等において、「友人同士で本を薦め合う活動」の重要性について周知を図るとともに、研修内容の充実に努めます。 また、各市町村に対する情報提供や支援にも努めます。
2	第2章 基本的方針 (8ページ)	これまでの「大人が本を薦める。」という視点だけでなく、「子ども同士で行う活動を通じ、読書への関心を高める。」という視点も加わったことで、子どもの読書への関心の高まりが期待できる。	
3	第2章 基本的方針 (8ページ)	「子ども同士で本を紹介するような取組を充実させる。」こと、また、小学生期も対象として取り組むこととしている点がよい。読書習慣の形成には、身近な友だちとの会話が欠かせない。 県高校生ビブリオバトル大会のようなフォーマルな場だけでなく、インフォーマルな場での本の紹介が広がると読書意欲や自己肯定感に繋がる。子ども同士が直接向き合って読書を楽しむ活動に着目したことは、有益である。	
4	第3章 子どもの読書 活動の推進の ための方策 (21ページ)	例示されているような多様な読書活動により、活動と本で人がつながる楽しさも味わえる。個性の伸長に加え、社会性の伸長を図ることができるという点にも、読書活動のよさがある。	頂いた御意見を踏まえ、社会性の伸長も図られるよう、子ども同士で行う活動を推進してまいります。
5	第3章 子どもの読書 活動の推進の ための方策 (16ページ)	学校図書館図書標準の達成を、目標値を上位修正し、継続して数値目標としたことはありがたい。	頂いた御意見を踏まえ、今後も市町村に対して、学校図書館図書標準の周知を継続して行います。

6	第1章 第3次計画期間における取組と課題 (6ページ)	「読書冊数だけでなく、読書の質の変化に目を向ける必要がある。」という記述は、じっくりと良書を読み、自分と向き合おうとする子どもの成長を後押しすることになる。	頂いた御意見を踏まえ、今後周知に取り組み、読書活動の推進に努めます。
7	第2章 基本の方針 (8ページ)	基本方針のサブテーマが「心に残る1冊の本との出会い」となり、このサブテーマを目的にした様々な読書活動の推進が期待できてよい。	
8	第2章 基本の方針 (8ページ)	サブテーマ「心に残る1冊の本との出会い」は、読書の幅を広げたり、心に残る本との出会いを楽しみにしたりする子どもの姿をイメージしやすい。	
9	第3章 子どもの読書活動の推進のための方策 (9ページ)	発達段階に応じた取組を明示している点は、とても意義がある。今後学校だけでなく、家庭・地域とこれを共有し、それぞれの立場で読書習慣の形成を担うような社会を作れたらよい。	頂いた御意見を踏まえ、家庭や地域を対象とした研修会でも、「発達段階に応じた取組」についての講座を設定し、内容の充実を図ります。
10	第3章 子どもの読書活動の推進のための方策 (20ページ)	学校長の学校図書館長としての役割を鑑み、「校長のリーダーシップのもとで、学校の読書活動の推進が図られる。」というような内容の記述がほしい。	頂いた御意見につきましては、国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」においても「校長のリーダーシップの下、計画的・組織的になされるよう努めることが望ましい。」と示されており、重要な内容だと考えております。このことも踏まえ、本県の推進計画20ページ(1)④に、学校図書館の利活用に関する校長のリーダーシップを示しており、読書活動の推進に関するリーダーシップも含むものと考えております。今後様々な機会をとらえ、学校長のリーダーシップによる読書活動の推進について働き掛けていきます。
11	第3章 子どもの読書活動の推進のための方策 (17ページ)	読書指導担当教員等の部会や研修会を充実させることは重要なことである。今後の推進に期待する。	頂いた御意見を踏まえ、各市町村単位で実施している研修会への講師派遣等を通じ、研修内容の充実に向け支援してまいります。

※ パブリック・コメントによる計画案の変更なし。